

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
白山大賞典	2018/10/2	JpnIII	金沢	2100m	ミドルペース	重	先行力、立ち回り力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ドリームズライン	牡4	54	吉田晃	ドリームジャーニー	サンデー系	クロフネ	ノーザン系	D	C	C	D	D	D		
2	2	マイネルリポーン	牡8	54	青柳	ローズインメイ	ヘイロー系	スキャン	ミスプロ系	D	B	C	D	D	D		
3	3	ムーンファースト	牡4	54	吉原	グラスワンダー	ロベルト系	ネオユニヴァース	サンデー系	D	A	C	D	C	C		
4	4	モズオトコマエ	牡4	54	鴨宮	ネオユニヴァース	サンデー系	ヘクタープロテクター	ミスプロ系	D	C	B	C	C	B	×1	
5	5	カツゲキキトキト	牡5	54	大畑	スパイクユール	サンデー系	キングカメハメハ	ミスプロ系	B	B	A	B	B	B	▲	
6	6	ミツバ	牡6	55	松山	カネヒキリ	サンデー系	コマンダーインチーフ	ノーザン系	A	B	B	B	B	B	○	
	7	タガノヴェリテ	セ6	54	下原	ハーツクライ	サンデー系	Invincible Spirit	ノーザン系	D	A	C	C	C	B	×2	
7	8	センチュリオン	牡6	55	大野	キングカメハメハ	ミスプロ系	ホホワイトマズル	ノーザン系	B	B	B	C	B	B	△3	
	9	ドンフォルティス	牡3	52	戸崎	ヘニーヒューズ	ノーザン系	フジキセキ	サンデー系	B	A	B	B	B	B	△2	
8	10	マイネルバサラ	牡5	57	柴田大	シニスターミニスター	ナスルーラ系	サザンヘイロー	ヘイロー系	B	C	A	B	B	A	◎	
	11	グリム	牡3	53	内田	ゼンノロブロイ	サンデー系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	B	B	B	A	B	B	△1	

隊列図	見解	ラップタイム
グリム マイネ カツゲ ドンフ ミツバ センテ モズオ タガノ ムーン マイネ ドリー	<p>地方の長距離ダートグレードは位置取り勝負になりやすいのが特徴。特に白山大賞典と名古屋グランプリはその色合いが濃く、金沢と名古屋競馬場は直線距離が短く、コーナー部分が長いので、前に行った馬が圧倒的に有利になりやすい。過去5年の白山大賞典を振り返っても、とにかく位置取り勝負になっている。過去5年の3着以内馬15頭のうち13頭は4コーナー3番手以内。上位争いするためには、「4コーナー3番手以内」が必須条件といってもよく、2100mの体力、スタミナ勝負というよりも「4コーナー=ゴール」の感覚で予想したほうがいいだろう。仮に4コーナーでいっぱいになっても金沢は直線が短いので惰性で粘り込める。ここは隊列が読みやすく、馬券的にも面白いレースになりそうだ。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はここで好走できなければ今後も買うタイミングがなさそうなマイネルバサラの一撃に期待したい。(以下省略)</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

ミドルペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ドリームズライン		前走イヌワシ賞でモズオトコマエに完敗。今回はメンバーレベルが格段に上がるので追走で精いっぱいになるだろう。苦戦必至。		
2	2	マイネルリポーン		昨年の白山大賞典は勝ち馬インカンテーションから3.1秒も離されての6着。JRA勢相手ではさすがに厳しい。		
3	3	ムーンファースト		前走イヌワシ賞ではモズオトコマエ、ナガラオリオンに完敗。JRA勢相手では分が悪い。		
4	4	モズオトコマエ	×1	前走イヌワシ賞は着差以上に強い競馬。勝負どころでの反応が鈍く、本質的に門別のような広いコース向きだが、超ポテンシャル型の本馬にとって相手強化でペースが上がるのは歓迎のはず。JRA勢の何頭かが凡走してくれば、自ずとチャンスが巡ってくるかもしれない。		
5	5	カツゲキキトキト	▲	前走東京記念ではシュテルングランツに逃げ切りを許したが、昨年も東京記念2着からの臨戦で白山大賞典で2着に好走。「前走で地方馬相手に敗れたからスタートグレードの今回は厳しい…」と思う必要は全くない。枠順、位置取りを考えれば、確実に上位争いに加わってくるのではないかな。		
6	6	ミツバ	○	鞍上は元々が積極性のある松山騎手だが、地方のダートグレードでは意識的に早めに動いており、今回も早めの進出が濃厚。2周目向上面から動いて4コーナーで先頭の馬を射程圏に入れてくるはずで、序盤の位置取りだけで評価を下げるべきではないだろう。		
	7	タガノヴェリテ	×2	転入初戦では佐賀記念4着キノソルらに完勝。JRAオープンまで伸びりつめた馬で、JRA勢相手でも大きな差はないだろう。ただ脚質的にコース替わりはマイナス。正直、掲示板が精いっぱいレベルだと見ているが、本命馬が人気薄な以上、相手も手広く押さえておきたい。		
7	8	センチュリオン	△3	休み明け、脚質的に割引が必要。能力的に通用していいとはいえ、ここで買うメリットは何もない。人気もそれなりに集めそうなので、好走されてしまったら諦めるしかない。		
	9	ドンフォルティス	△2	レースセンスが高く、コーナー6回のコースにも対応できそうだが、やはり位置取り面で評価を下げざるを得ない。鞍上が戸崎騎手なら4コーナー先頭のような競馬にはならないはずで、グリムとの能力差はほとんどないが、位置取りがグリムより後ろになる以上、グリム>ドンフォルティスの評価にした。		
8	10	マイネルバサラ	◎	近3走に関しては言い訳の利く敗戦。今回は本馬の立ち回り力と持久力が最大限に生きる舞台。柴田大知騎手は前走の失敗も踏まえてロングスパート戦に持ち込むのが濃厚。4コーナーでは本馬が先頭か2番手にいるはずで、後続のエンジンがかかるまえにゴール板に飛び込むシーンは十分に想像できる。		
	11	グリム	△1	賢い時という意味では前走だったのは間違いないはず。同じように先行策を打ててかつ長距離実績もあるマイネルバサラが人気薄ならそちらを上位に評価すべきだろう。位置取り重視で予想しているとはいえ、本馬に関しては初の地方ダートグレード、初の2000mを超える距離など隙も少しある。		